

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 5 日

評価対象事業		評価者	教育総務課担当課長 鈴木 晴久		
教育-12	実施事業	吉屋信子記念館管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	教育総務課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生涯学習	施策の方針	学習環境の整備・充実	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	吉屋信子文学の業績をしのび、その文学を永久に保存し後世に伝えるとともに、市民の文化教養の向上を図るため。
効果	生涯学習施設として市民等の学習の場として活用する。 吉屋信子の文学及び業績を広く市民に伝える。

2 平成29年度に実施した事業の概要

吉屋信子記念館の維持管理を行うとともに、一般公開業務や施設利用業務などを実施した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数	4,719人		3,851人		6,900人			
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	2,237	1,829		当初予算(千円)	2,815		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他	216	196		その他	426		
	一般財源	2,021	1,633		一般財源	2,389		
事業経費運営	人員配置数	1.3	1.3		人員配置数	1.1		
	人件費(千円)	9,822	9,939		人件費(千円)	8,560		
	総事業費(千円)	12,059	11,768		総事業費(千円)	11,375		
	市民1人当りの経費(円)	68	67		市民1人当りの経費(円)	65		
	対象者1人当りの経費(円)	2,555	3,056		対象者1人当りの経費(円)	1,649		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する				事業へ統合

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	吉屋信子文学を広く市民に伝えるため、建物の各所修繕や庭園の管理を計画的に行っていく必要がある。一般公開にあたって、より多くの方に来館していただくため、事前の周知や吉屋文学、建物の歴史等の紹介を行っていく。財源については、歴史的風致維持向上計画的に基づき、国の補助金を活用する。
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	生涯学習施設として市民等の学習の場に活用し、吉屋信子の文学及び業績を広く市民に伝えるため、一般公開を継続し実施した。今後は、近隣住民の記念館に対する理解を深めるとともに、耐震診断や大規模修繕の実施及び当記念館の有効活用について引き続き検討を進めていく。
-------------------	--

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	・建物の耐震診断の予算措置が確保できなかった。今後、予算措置に向けて関係課と協議をすすめる。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	・今後の保存・改修計画推進の前提として、国の登録有形文化財(建造物)への登録がされた。登録に伴い鎌倉生涯学習センター・地下道ギャラリーにおいて展示を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・建物の耐震診断の予算措置が確保できていないため、引き続き予算措置に向けて関係課と協議をすすめる。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	利用者数	単位	指標の傾向		備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
来場者の増加を図るため	目標値	6,850.0	6,900.0	6,900.0	6,900.0	6,900.0	6,900.0
	実績値	5,368.0	4,767.0	4,719.0	3,851.0		
	達成率	78.4%	69.1%	68.4%	55.8%		

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	平成26年度は開館40周年記念事業開催の影響もあり利用者数が一時的に増加したが、その後は落ち着いた状態になっている。							
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--